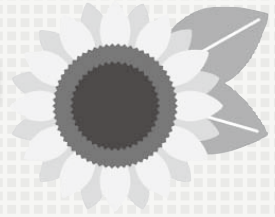


このページはボランティアの市民の方が取材・作成しています

すこいぞ!あま市

ヒューマン編
VOL.2



笑顔のすてきな 自称ひまわり娘
元気印の 渡邊みづえさん をご紹介いたします!

『JAなの花の会』で高齢者の支援を始めて22年。もっと自由な活動を求めて『あまちゃんの会』を立ち上げて5年。

平成25年度からは、高齢福祉課の認知症サポーター養成講座でキャラバン・メイトとして講師を務め、平成28年度には中学校でも「みづえばあちゃん」に変身して、認知症を分かりやすく伝えています。最近、街中でも中学生から声を掛けられ「とても嬉しい!」と話す。

平成23年キャラバン・メイト取得
平成24年レクリエーションインストラクター取得

みなさんと一緒に楽しく
笑いあいの介護予防・認知症予防を続け
明るく元気なあま市を目指してがんばります!



「どんどん支援の輪は広がっていますが、まだまだ足りません。もっともっと高齢者が気軽に通える場所があるといいなあと思います。公共の場所だけでなく、ご自分の家でご近所の方とおしゃべりすることでも良いし、散歩のついでに子どもの見守りや、高齢者への声掛け、空き巣対策や防災・防犯など、ちょっとした工夫で地域のためになることを知っていただきたい。ご自身の生きがいや認知症予防にも、ぜひ!」と…。

さて、
みづえさんは
どこでしょう?

なの花の会(6月14日午後の様子)
歌あり漫談ありの笑いの絶えない会でした。
甚目寺総合福祉会館2階には総勢約240人
(うち、スタッフ約50人)が集合しました。



(認知症サポーター養成講座の様子)



(あまちゃんの会の皆さん)

あまちゃんの会では、多世代の交流を大切に活躍中!

高齢者サロンや認知症カフェの運営の他、萱津保育園の園児と芋ほり体験や警察官の人形を3体作り津島警察署へ寄付



■編集後記■ みづえさんに初めて出会ったのは、2年程前の高齢福祉課主催で行われた認知症の方と家族のための『ふれあいカフェ』。皆さんと歌を歌う姿は、ひと際目立っていました。その後もいろいろな活動をされていることを知り、ただただ驚くばかり。体に気を付けていただきたいと思うほど…それと、ご家族の理解があるんだなあって…とにかく、すこい!
(by 市民記者 あみゆ)